

## 事務事業評価調書

事務事業名	1歳6か月児健康診査事後指導事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正内容	事業名称の変更											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	母子保健法、1歳6か月児健康診査事後指導事業(バンビ親子教室)実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	1歳6か月児健康診査において事後指導が必要とされた幼児及びその保護者												
	目標(どういふ状態にしたいのか)	早期の親子療育による課題の軽減及び解消への援助												
	結果(どのような効果が得られるのか)	子どもの発達の促進と問題の軽減及び親子関係改善												
(7) 事業概要	<p>バンビ親子教室は、「落ち着きがない」「ことばが遅い」「友達と遊べない」等の育児上の悩みや問題を持った親子に対し保護者や友達と楽しく遊んだり、一緒に学習しながら、より良い親子関係をつくり、安心して子育てができるよう援助していくための教室である。クラスは11クラスあり、週1回の概ね1年間の通室期間である。1クラスは17～18人の定員。1歳児で開室するのは5クラス(6月、8月、10月、12月、2月にオープン)、2歳児で開室するのは5クラス(4月3クラス、6月1クラス、10月1クラスオープン)、そして2歳児でバンビ入室期間が半年に満たない子のために3歳児クラス(4月～9月)が1クラスある。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		33,617	32,955	34,132	34,132	34,962							
	人件費	職員数	人	5.60	5.60	6.00	5.00	5.30						
		総額(B)	千円	46,480	44,504	50,112	41,760	43,301						
	総事業費(A+B)		80,097	77,459	84,244	75,892	78,263							
	特定財源(C)		1,532	2,620	2,051	2,051	4,278							
	(内訳)	国	932	1,659	1,277	1,277	2,761							
		府	466	829	638	638	1,380							
		その他	134	132	136	136	137							
	市負担(D)		78,565	74,838	82,193	73,841	73,985							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	137							
		一般財源	78,565	74,838	82,193	73,841	73,848							
財源計(C+D)		80,097	77,458	84,244	75,892	78,263								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	総在籍児数(実数)	目標値	(単位:人)	262.00	267.00	270.00
			実績値	(単位:人)	288.00	283.00	/	
		達成度(%)		109.9	106.0			
	目標値の積算方法	1歳6か月児健診において事後指導が必要とされる人数(概ね出生数の6%) + 前年度からの継続人数(89人)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	241.02	268.17		
				一般財源(単位:千円)	231.93	260.92		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	退出時に行った保護者へのアンケート調査結果(バンビ親子教室を利用することで育児の不安や苦勞が軽減されたと答えた人の割合)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位:%)	91.00	90.00		
		達成度(%)		91.0	90.0			
	目標値の積算方法	各年度80%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	762.80	843.24		
				一般財源(単位:千円)	734.01	820.46		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		障がいの早期発見・早期療育のシステムでの役割のみならず、養育上の問題の改善による児童虐待の予防、児童の健全育成にも役割を果たしている。今後は1歳6か月健診だけでなく、乳幼児健診の事後指導事業として幅広い対象への支援を視野に入れ、平成29年度に向けては3歳児健診の事後指導事業の親子教室が開始できるよう検討していく。					

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	1歳6か月児健康診査事後指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00262				

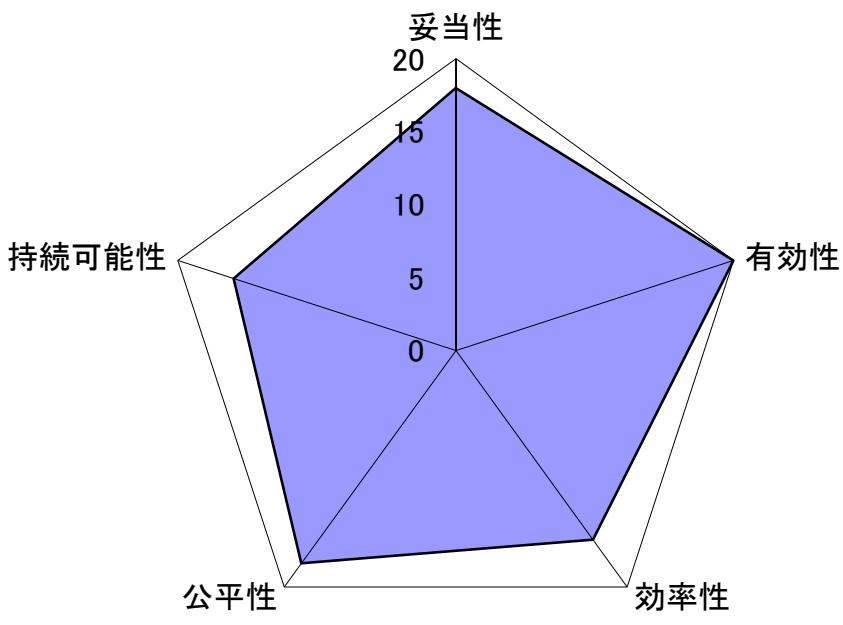
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00262
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退室時のアンケート等では入室することで、「子どもとの関わり方がわかった」、「これからの子育てに自信ができた」という保護者が多く、また療育の必要な児童を療育機関に繋げることができ、児童や保護者の支援に繋がっていること等、障がいの早期発見・早期療育の役割のみならず、養育上の問題の改善による児童虐待の予防、児童の健全育成にも役割を果たしている。ただし、バンビ親子教室への入室が必要と思われる親子は、現在は出生数の6%を超える児童となっていて、対象児童が年々増加し、入室待機になる場合が発生している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	こども発達支援センター施設管理事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正内容	わかたけ園合築に伴う処務規定改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	こども発達支援センター処務規程													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域支援センター・杉の子学園(平成19年度～)わかたけ園(昭和57年度～)の建物、敷地及び設備											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	建物、敷地及び設備を適正に維持、管理する。 施設や設備に起因した事故や故障をなくし、来場者が安心、安全に利用できるようにする。												
(7) 事業概要	建物、敷地及び設備の維持・管理にかかる委託業務、修繕、電気・ガス・水道の管理等。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		21,578	22,752	21,642	21,047	27,069							
	人件費	職員数	人	2.00	1.30	2.00	2.00	1.90						
		総額(B)	千円	16,600	10,332	16,704	16,704	15,523						
	総事業費(A+B)		38,178	33,084	38,346	37,751	42,592							
	特定財源(C)		156	168	168	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	156	168	168	0	0							
	市負担(D)		38,022	32,915	38,178	37,751	42,592							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	156	0	168	168	0							
一般財源		37,866	32,915	38,010	37,583	42,592								
財源計(C+D)		38,178	33,083	38,346	37,751	42,592								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社エイビック										
			②	大阪ガス										
			③	双葉化学商会										
		主な委託内容	電気設備管理、空調設備管理、警備等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 親子教室・わかたけ園・杉の子学園 利用 時児童数	目標値	(単位:件)	226.00	240.00	/
			実績値	(単位:件)	222.00	237.00	
		達成度(%)		98.2	98.8		
	目標値 の積算 方法	親子教室・わかたけ園・杉の子学園 利用 可能人数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	173.23	159.29	
				一般財源(単位:千円)	173.23	158.58	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 施設を適正に維持・管理し、施設の不具合 による事故を防ぐ。	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値 の積算 方法	事故件数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値 の積算 方法		単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		障がいのある子どもとその保護者を支援する拠点施設である地域支援センター・杉の子学園・わかたけ園においては、利用上、特に安心、安全の確保が必要であり、効率的な運用に努める。				

事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00319				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00319
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>こども発達支援センターは築9年が経過し、毎年修繕を要する場所が出てきている。利用者の安全にかかわる場所から計画的に修繕を行っていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	児童発達支援事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和46年度	改正 内容	児童福祉法改正に伴う条例改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法・こども発達支援センター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	杉の子学園:主に知的障がい、または精神に障がいのある就学前の児童(発達障がいを含む) わかたけ園:主に上肢、下肢、または体幹機能に障がいのある就学前の児童												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	個々の児童の発達課題に即した療育を行い、障がいのある児童の生活向上を目指す。保護者の負担・不安の軽減進路選択の支援。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童の発達が促進され、生活技術が向上する。保護者の負担・不安が軽減される。進路選択の支援により、児童にとって望ましい進路の決定が可能になる。												
(7) 事業概要	<p>児童福祉法に基づき、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある就学前児童を対象に、個別支援計画を作成する。</li> <li>日常生活における基本的な動作やあそびの指導、自立に必要な知識や技術の向上、集団生活への適応のため、保育士・生活指導員・発達指導員・理学療法士・作業療法士 言語聴覚士と連携して、療育を行う。</li> <li>保護者に対し、相談や学習会等を通じて子育ての支援を行う。</li> <li>わかたけ園では親子通園による生活、あそび、機能訓練を通じての療育を行う。</li> <li>杉の子学園では単独通園による小集団で、生活やあそびを通じて必要な療育を行う。</li> </ul>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		116,907	106,204	121,361	107,639	115,070							
	人件費	職員数	人	32.40	34.80	36.20	36.20	35.90						
		総額(B)	千円	268,920	276,556	302,343	302,343	293,303						
	総事業費(A+B)		385,827	382,760	423,704	409,982	408,373							
	特定財源(C)		9,959	166,243	9,798	9,769	9,995							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	9,959	166,243	9,798	9,769	9,995							
	市負担(D)		375,868	216,517	413,906	400,213	398,378							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		375,868	216,517	413,906	400,213	398,378								
財源計(C+D)		385,827	382,760	423,704	409,982	408,373								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 杉の子学園園児数	目標値	(単位:人)	60.00	60.00	/
			実績値	(単位:人)	70.00	70.00	
			達成度(%)		116.7	116.7	
	目標値の積算方法 定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,479.36	5,856.89		
			一般財源(単位:千円)	5,357.21	5,717.33		
	②	指標内容 わかたけ園園児数	目標値	(単位:人)	40.00	40.00	
実績値			(単位:人)	36.00	38.00		
達成度(%)			90.0	95.0			
目標値の積算方法 定員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10,654.31	10,789.00			
		一般財源(単位:千円)	10,416.81	10,531.92			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	障がいの程度による差はあるが、それぞれの子どもに発達の伸びがみられた。			達成状況	子どもにとって適切な就園・就学指導ができた。次の機関での保育・教育につながり、継続的な療育を行うことができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>杉の子学園・わかたけ園は開園以来、それぞれの児童の発達課題に即した療育を行い心身の発達を促すとともに、保護者への子育ての不安や負担に対する支援を行ってきた。</p> <p>杉の子学園では入園希望児童が年々増えており、ニーズの非常に高い事業である。</p> <p>ニーズに応えられるよう定員を拡充し、知的障がい児と自閉スペクトラム障がい児の受け入れを拡大することを検討するとともに、より専門性を高める必要がある。</p> <p>わかたけ園は、従来医療機関で入院、療育を受けてきた0～1歳の児童が在宅での療育、介護に切り替わる傾向にあり、地域での早期療育の必要性が高い。また、支援を要する家庭も多く、多面的な専門性が求められる。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	児童発達支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00320				

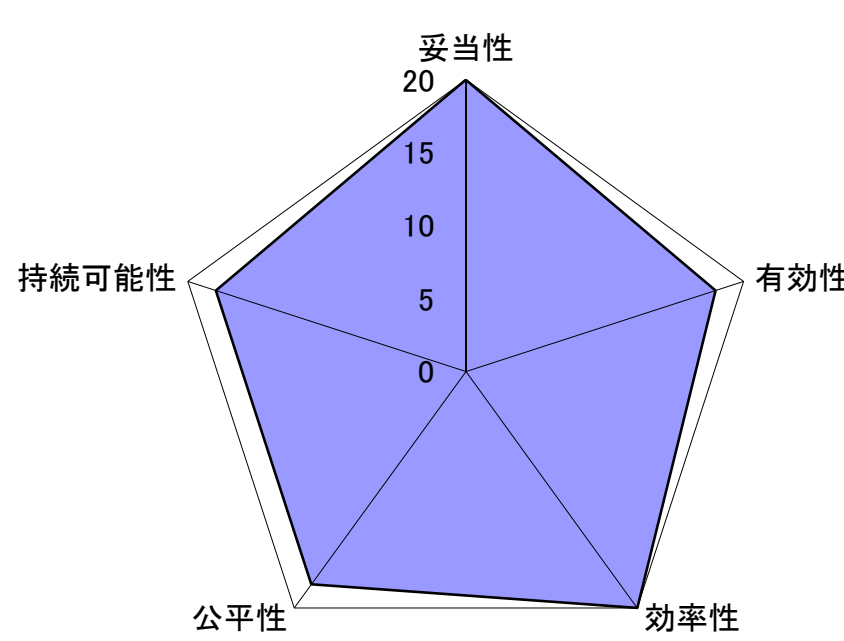
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00320
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>障がいのある就学前の児童がそれぞれの発達段階に応じた保育、療育を日々行うことや、発達指導員、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士による相談や訓練を行うことで、心身ともに発達に合わせた成長が促されている。</p> <p>また、早期発見・早期療育の充実により、これまでは発見できなかった療育の必要な児童の保護者支援や進路指導により入園希望が増加している。</p> <p>なお、支援が必要な児童の増加に伴う定員の拡充を図るため、杉の子学園の定員を増やし、療育を必要とする児童と保護者の支援を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	児童福祉サービス給付事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	児童福祉法改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市内に在住する障がいのある児童とその保護者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	①障がいのある児童の通所支援にかかる支給決定を行うことにより、事業所の利用ができる。 ②事業所からの請求を審査し、給付費の支払いを行うことで事業所の運営経費となる。 事業所の安定した運営により、障がい児への継続的な療育を行う。												
(7) 事業概要	①平成24年度から児童福祉法の改正により法定事務として府から市へ事務移管されたことに伴い、障がいのある児童に通所支援にかかる支給決定事務を行う。 ②①と同様の経緯による法定事務にて、毎月各事業所からの給付費の請求にかかる内容を審査し、国保連合会を通して各事業所に支払う。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		486,103	582,999	580,272	755,116	834,996							
	人件費	職員数	人	0.80	1.00	0.80	0.80	0.80						
		総額(B)	千円	6,640	7,947	6,682	6,682	6,536						
	総事業費(A+B)		492,743	590,946	586,954	761,798	841,532							
	特定財源(C)		364,109	440,346	434,516	570,347	625,431							
	(内訳)	国		241,806	294,041	288,744	381,934	416,021						
		府		122,303	146,305	145,772	188,413	209,410						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		128,634	150,600	152,438	191,451	216,101							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		128,634	150,600	152,438	191,451	216,101								
財源計(C+D)		492,743	590,946	586,954	761,798	841,532								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
			②											
			③											
	主な委託内容		事業所への給付費の支払い											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	障がい児通所支援サービス利用件数	目標値	(単位:件)	72,300.00	64,920.00	66,000.00
			実績値	(単位:件)	63,155.00	77,242.00		
				達成度(%)		87.4	119.0	
	目標値の積算方法	第3期(平成27年度は第4期)吹田市障がい福祉計画の月当たり利用量見込み×12月	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.26	9.86		
				一般財源(単位:千円)	2.31	2.48		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
の3が困難な場合		①	活動内容				目標	
	②	成果内容	福祉サービスを必要とする障がい児へ、ニーズに沿った適切な給付を行うことにより、安定した障がい児通所支援サービスの供給が行えた。			達成状況	障がい児の地域での生活充足度を高めることができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		当該事業は法定業務であるため、引き続き実施していく。					

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	児童福祉サービス給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00321				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00321
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本市へ新規参入を行う事業所が増加しており、事業費は増加傾向にある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年度に新たに加わった事業であり、法定業務としての支給決定については、今後の件数の推移を見ながら人員体制等を整備していく必要がある。児童発達支援及び放課後等デイサービスは、ともに児童・保護者にとってニーズの高いサービスであり、支給件数は増加傾向にある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	安全対策事業(こども発達支援センター)				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成17年度	改正 内容												
(2) 直近の改正														
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	1												
	細節	32												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	範囲等	杉の子学園・わかたけ園園児等施設利用者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	安全管理員を配置し、不審者の監視等を行うことにより、園児等施設利用者の安全を確保する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	園児等の安全面の向上を図る。												
(7) 事業概要	園の安全管理確保と円滑な運営を目的とし、外部からの不審者の侵入を防ぐため安全管理員を配置する。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,338	2,301	2,334	2,290	1,260							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		3,168	3,096	3,170	3,126	2,077							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,168	3,096	3,170	3,126	2,077							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,168	3,096	3,170	3,126	2,077								
財源計(C+D)		3,168	3,096	3,170	3,126	2,077								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	公益社団法人 吹田市シルバー人材センター										
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 安全管理員配置施設数	目標値	(単位:園)	2.00	2.00	1.00	
			実績値	(単位:園)	2.00	2.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	安全管理員配置施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,566.50	1,563.00	
				一般財源(単位:千円)		1,566.50	1,563.00	
	②	指標内容 不審者の侵入等を未然に防ぎ、園児等施設利用者の安全を確保する。	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		不審者の侵入を防ぐ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 不審者の侵入等の件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		安全管理員を配置することで、不審者に対する抑止力となり、障がいのある児童の命を守る重要な対策であるとともに、保護者からも継続を強く要望されていることから、今後も事業を実施していく。					

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00322				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00322
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>安全管理員を配置し、不審者に対する抑止力となっている。なお、今後の事業のあり方については、保護者への配慮を行いつつ地域力の活用も含めて検討の必要がある。 また、わかたけ園の移転に伴い、それぞれで行っていた安全管理員の配置については、こども発達支援センターのみで行うこととなった。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	相談支援事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	児童福祉法・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障がい者総合支援法)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	主に障がい児通所支援の利用を希望する児童及び障がい福祉サービスの利用を希望する児童												
	目標(どういう状態にしたいのか)	障がい児支援利用計画の作成、サービス事業者等との連絡調整、サービス利用中のモニタリングを行うことで、適切な福祉サービスの利用を促進する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	適切なサービスの提供を構築することで、障がい児の地域での生活を充実させる。												
(7) 事業概要	主に障がい児通所支援利用希望児童について障がい児支援利用計画の作成、サービス事業者等との連絡調整、利用状況のモニタリングを行います。法定「児童発達支援センター」の構成事業の一つであり、同センターとして事業所指定を受けていることから、児童発達支援事業及び保育所等訪問支援事業と合わせて、一体的に運営する必要があります。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		118	33	42	23	57							
	人件費	職員数	人	0.80	0.10	0.80	0.80	0.80						
		総額(B)	千円	6,640	795	6,682	6,682	6,536						
	総事業費(A+B)		6,758	828	6,724	6,705	6,593							
	特定財源(C)		4,960	0	4,961	1,518	2,445							
	(内訳)	国	3,307	0	2,481	760	1,271							
		府	1,653	0	1,240	379	637							
		その他	0	0	1,240	379	537							
	市負担(D)		1,798	828	1,763	5,187	4,148							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	1,798	828	1,763	5,187	4,148							
財源計(C+D)		6,758	828	6,724	6,705	6,593								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	計画案作成件数	目標値	(単位:件)	1.00	80.00	20.00
				実績値	(単位:件)	1.00	110.00	
				達成度(%)		100.0	137.5	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	杉の子学園通園児50名 わかたけ園通園児30名	総事業費(単位:千円)	86.00	60.95	
		一般財源(単位:千円)		86.00	47.15			
	②	指標内容	モニタリング件数	目標値	(単位:件)	1.00	80.00	100.00
				実績値	(単位:件)	1.00	40.00	
				達成度(%)		100.0	50.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	杉の子学園通園児50名 わかたけ園通園児30名	総事業費(単位:千円)	86.00	167.63		
	一般財源(単位:千円)		86.00	129.68				
(2) 成果指標	①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト		総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	障がい児支援利用計画の作成やサービス利用中のモニタリングを行うことで、障がい児の抱える課題の解決や、適切な福祉サービスの利用を促進した。			達成状況	障がい児の地域での生活充足度を高めることができた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		児童発達支援センターの構成事業として、今後も継続して行っていく必要がある。業務に従事するためには、障がい関連の相談業務または同関連の介護や保育業務等に一定期間従事した経験を持つ資格者が、専門の研修を受講する必要があるため、業務を継続するためには、前述の障がい関連業務従事経験者の確保が必須である。担当したケースに対し、一定期間毎にモニタリングを行わなければならない。全国的に本事業にかかる民間事業所の参入が遅れており、直近に事業所数が拡充される見込みもなく制度の利用にかかる受け皿が不足していることから、本センターについても今後の新規相談ケースに対応するため、人員体制の強化について検討する必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	相談支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00323				

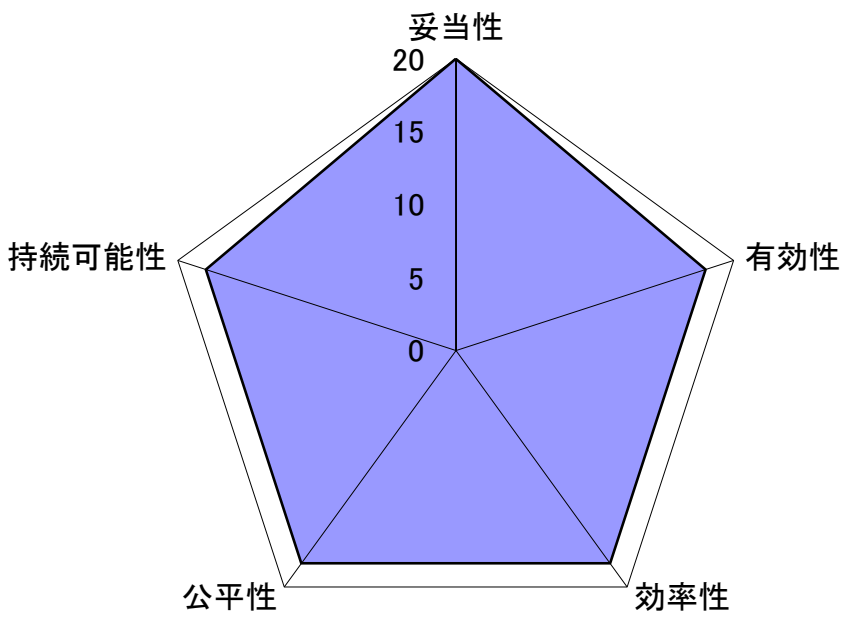
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00323
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度中に、福祉サービスの利用にかかる全ての支給決定に対して計画案を作成するよう、国が指針を打ち出しており、「杉の子学園」「わかたけ園」に通園している児童を中心に110件について家庭訪問によるアセスメントを行い、サービス等利用計画の作成を行った。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

全国的に本事業にかかる民間事業所の参入が遅れており、直近に事業所数が拡充される見込みもなく制度の利用にかかる受け皿が不足していることから、本センターについても今後の新規相談ケースに対応するため、人員体制の強化について検討する必要がある。



## 事務事業評価調書

事務事業名	通園療育支援事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成4年	改正 内容	吹田市肢体不自由児通園施設長期欠席児対策事業助成金交付要綱 法改正による用語の整理・助成金額の改定											
(2) 直近の改正	平成24年													
(3) 根拠法令等	吹田市立わかたけ園長期欠席児療育介助制度に関する要領 他													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	わかたけ園を利用(通園・外来)する児童および 他の肢体不自由児の通園施設に通園する児童												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	通園療育の円滑に行い、その成果を定着させる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	療育成果の向上・定着												
(7) 事業概要	②単独通園(就学前プログラムとしての他人介助での通園) ③外来保育(通園の準備段階・訓練の補助および通園に至らない親子の支援)													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5,331	5,104	4,689	5,763	6,681							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.80	0.80	0.30						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	6,682	6,682	2,451						
	総事業費(A+B)		7,821	7,489	11,371	12,445	9,132							
	特定財源(C)		24	19	19	20	26							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	24	19	19	20	26							
	市負担(D)		7,797	7,469	11,352	12,425	9,106							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	20	0							
一般財源		7,797	7,469	11,352	12,405	9,106								
財源計(C+D)		7,821	7,488	11,371	12,445	9,132								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	恩賜財団大阪府済生会吹田療育園										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 長期欠席児対策事業 利用人数	目標値	(単位:人)	3.00	6.00	/
			実績値	(単位:人)	3.00	9.00	
			達成度(%)		100.0	150.0	
	目標値 の積算 方法	実績に基づく出産等による長期欠席該当者の 想定人数	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	2,496.33	1,382.78	
				一般財源(単位:千円)	2,488.33	1,378.33	
	②	指標内容 外来保育実施回数	目標値	(単位:回)	101.00	100.00	
実績値			(単位:回)	101.00	92.00		
達成度(%)			100.0	92.0			
目標値 の積算 方法	設定回数 外来保育+外来グループ保育+外来たけ のこ(OT)グループ	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	74.15	135.27		
			一般財源(単位:千円)	73.91	134.84		
(2) 成果指標	①	指標内容 長期欠席対策事業 実施期間中の登園率	目標値	(単位:%)	60.00	60.00	/
			実績値	(単位:%)	60.00	67.00	
			達成度(%)		100.0	111.7	
	目標値 の積算 方法	園児の平均登園率(概算)	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	124.82	185.75	
				一般財源(単位:千円)	124.42	185.15	
	②	指標内容 外来保育 参加延人数	目標値	(単位:人)	202.00	200.00	
実績値			(単位:人)	256.00	300.00		
達成度(%)			126.7	150.0			
目標値 の積算 方法	外来グループ保育・外来たけのこ(OT)グ ループ 回数×2人 外来保育(個別) 回数×1人	単位当 たり コスト	総事業費(単位:千円)	29.25	41.48		
			一般財源(単位:千円)	29.16	41.35		
(3) 困難な場合 を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>通園療育支援事業には通園療育を補完し、円滑に実施して、効果を定着させるための3つの事業が含まれる。今後こども発達支援センター二次整備後の通園療育の充実に合わせて、より効果的な事業展開を検討する。</p> <p>単独通園については、他の医療型児童発達支援センターにおいて5歳児に限らず積極的に取り入れており、わかたけ園でも就学前プログラムとして5歳児1人あたり年間25日(うち23日は介助員を配置)実施している。しかし、わかたけ園に在園する児童は、障害が重い・医療的ケアを要する等の事情があり、年齢に比して親子の密着度が高く、児童の成長にも時間がかかる場合が多いため、5歳児の単独通園日を増やす等より効果的な就学前プログラムとなるよう検討が必要である。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター地域支援センター	事業名	通園療育支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00324				

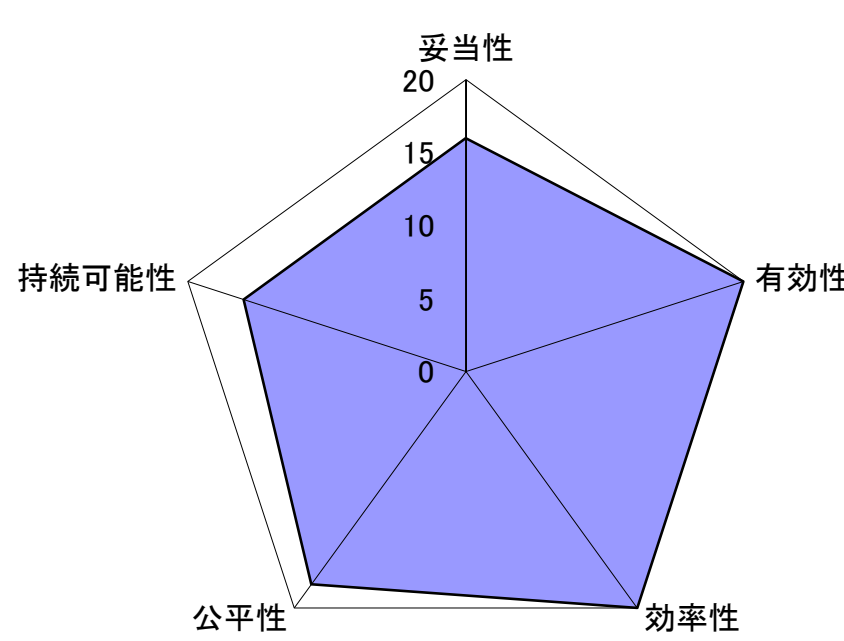
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター地域支援センター	事務事業番号	00324
-----	---------------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>通園療育の補完・円滑実施・効果の定着のために効果を上げている。          当事業のメニューのうち単独通園事業については、就学準備プログラムとして実施しているが、所期の効果を上げるためには実施日数が不足しており、方法を工夫し実施日数の増加が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域療育事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成19年度	改正内容	児童福祉法改正に伴う条例改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	児童福祉法・こども発達支援センター条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	0歳から18歳までの、おもに通園療育を受けていない障がいのある児童及び保護者。また、その児童や保護者を支援する地域の市民。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	障がいの軽減が図られ、児童の生活の質が向上するとともに、保護者の負担も軽減される。また、市民による地域での支援によって安心して暮らしていける。												
(7) 事業概要	<p>「吹田市の療育システムの充実について」の基本方針に基づき、障がい児施設、支援学校、市民病院、保健所等、福祉・教育・医療等の関係機関の連携を図りシステムを推進する中で、主に次の取り組みを行う。</p> <p>①障がいのある児童と保護者を対象とした各種親子教室、②一般相談、発達相談、各種専門相談③理学・言語・作業療法、④在籍機関での巡回相談⑤発達障がいや放課後休日の支援を行う教室。また、市民を対象に、⑥地域福祉講座の開催、⑦ボランティア活動の支援。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		38,159	35,690	37,096	31,761	51,938							
	人件費	職員数	人	6.40	7.00	7.30	7.30	11.70						
		総額(B)	千円	53,120	55,629	60,970	60,970	95,589						
	総事業費(A+B)		91,279	91,319	98,066	92,731	147,527							
	特定財源(C)		1,859	2,591	5,946	5,946	7,142							
	(内訳)	国	380	1,359	864	864	0							
		府	222	712	4,032	4,032	3,600							
		その他	1,257	520	1,050	1,050	3,542							
	市負担(D)		89,420	88,728	92,120	86,785	140,385							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		89,420	88,728	92,120	86,785	140,385								
財源計(C+D)		91,279	91,319	98,066	92,731	147,527								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	各種療法利用件数	目標値	(単位:人)	4,680.00	4,872.00	5,000.00	
			実績値	(単位:人)	2,918.00	3,244.00		
			達成度(%)		62.4	66.6		
	目標値の積算方法	各種療法訓練必要件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		30.12	28.59	
				一般財源(単位:千円)		28.53	26.75	
	(2) 成果指標	②	発達相談・療育相談件数	目標値	(単位:人)	673.00	793.00	815.00
実績値				(単位:人)	580.00	621.00		
達成度(%)				86.2	78.3			
目標値の積算方法		相談申請者数(待機も含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		151.56	149.33	
				一般財源(単位:千円)		143.54	139.75	
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	児童の障がいの軽減が図られ、生活の質が向上し、保護者の負担も軽減される。また、児童が所属する機関との連携や、市民による地域での支援によって、安心して地域で生活することができる。			達成状況	実施により児童の障がいの軽減や生活の質や向上が見られるが、全ての希望者への提供はできていない。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>現在相談から訓練までの待機が12ヶ月となっている。平成28年度より地域支援センターに専門職を集め、障がい児に一体的に関わるなど効率的な体制整備を行っているが、それだけでは十分でないので、専門職の増員が必要である。また、継続的な訓練のニーズに対して、他の機関に繋げていくためのシステムづくりが必要である。</p> <p>配慮が必要な児童の増加により、親子教室についても待機が生じているため、バンビ親子教室を統合することで、定員や実施場所の拡大を行い、親子にとって利用しやすい教室にしていくため今後も検討が必要である。</p>						

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	地域療育事業	事業区分	その他
事務事業番号	00325				

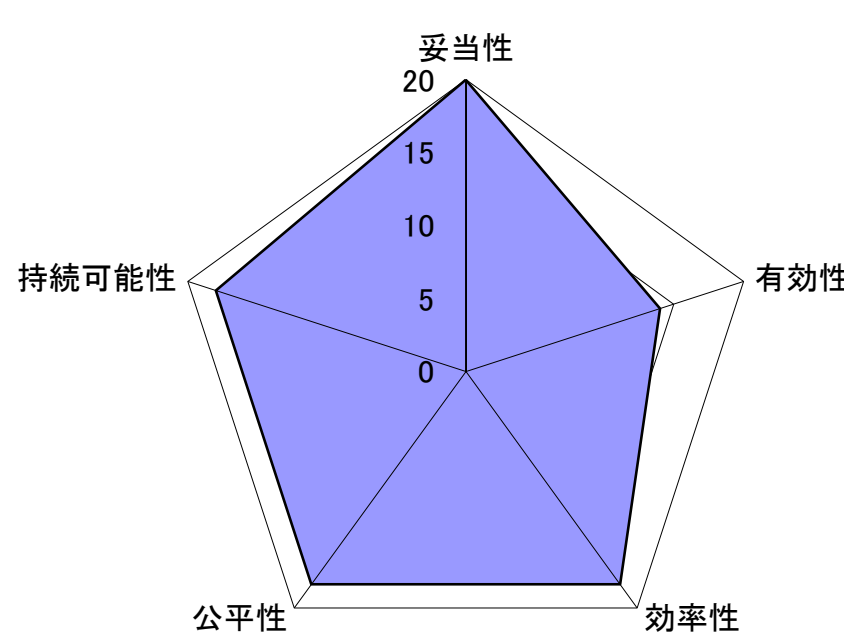
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	00325
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>支援の必要な児童の増加に伴い、親子教室では定員が十分ではなく、必要な児童がまだ受け入れられない状況がある。また相談ニーズの増加が著しく、療育相談の待機が出ているため、訓練希望者への必要な訓練ができていない状況がある。それらを改善するために、わかたけ園の専門職や1・6健診事後指導事業のバンビ親子教室の統合の検討をし、28年度より実施の方向。なお、支援の必要な児童の受け入れや相談・支援を受けるためには、親子教室の定員の拡充や専門職の体制整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	保育所等訪問支援事業				
担当部名	児童部	室課名	こども発達支援センター地域支援センター	室課長名	澤野 直樹

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	児童福祉法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	1	細節	32							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	保育所や児童が集団生活を営む施設に通う障がい児												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	障がい児が保育所等の集団生活に適応できるように支援する。												
(7) 事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	保育所等に在籍している障がい児、又は今後利用する予定の障がい児が、保育所等における集団生活適応のための専門的な支援を必要とする場合に、訪問支援を実施することにより、安定した利用を促進する。												
	保育所や幼稚園、学校等、障がい児が集団生活を行う場に専門職を派遣し、当該児童に対し直接療育を行うほか、当該児童に関わるスタッフに対しても助言・指導を行う。法定「児童発達支援センター」の構成事業の一つであり、同センターとして事業所指定を受けていることから、児童発達支援事業及び相談支援事業と合わせて、一体的に運営する必要がある。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	10	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	28	0	16							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.80	0.00	0.20						
		総額(B)	千円	0	0	6,682	0	1,634						
	総事業費(A+B)		0	0	6,710	0	1,650							
	特定財源(C)		0	0	211	0	0							
	(内訳)	国		0	0	105	0	0						
		府		0	0	53	0	0						
		その他		0	0	53	0	0						
	市負担(D)		0	0	0	0	1,650							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	0	1,650								
財源計(C+D)		0	0	211	0	1,650								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	訪問支援件数	目標値 (単位:件)	0.00	10.00	/
			実績値 (単位:件)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	訪問支援必要件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	
実績値 (単位:)				0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
	実績値 (単位:)			0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00		
実績値 (単位:)			0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0				
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	保育所等における集団生活適応のための専門的な支援を必要とする場合には、本サービスを提供し、安定した利用を促進する。			達成状況	平成27年度は、本サービスの利用希望はなかった。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		児童福祉法では当該事業の実施対象が未就学から高校生までと幅広い。本市に於いては巡回相談事業との住み分けを行い、現在実施している巡回相談事業の対象とならない、幼稚園に在籍しているパンダ親子教室の児童の教室退室後を対象とし開始したが、利用希望はなかった。また民間事業所での利用実績も少ない。				

## 事務事業分析シート

所属名	こども発達支援センター	事業名	保育所等訪問支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01427				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	こども発達支援センター	事務事業番号	01427
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>児童福祉法に定める、法定児童発達支援センターにおける必置事業であるが、本市が現在実施している巡回相談事業において保育園や幼稚園、放課後こども育成課において、専門職を派遣し、当該児童に関するスタッフや保護者に対して助言指導を行っているため、ニーズが少なく、本事業の利用も少ない。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)